



信州大学医学系研究科疾患予防医科学系専攻
市民公開セミナー



—疾患予防医学の現在と未来—

平成26年2月20日 (木)
信州大学旭総合研究棟9階AB講義室

午前の部: 疾患予防医科学系専攻の研究紹介 (10:00 -12:15)

加齢生物学 樋口 京一
アミロイドーシスとは? 疾患予防医科学から見た病態と予防法

神経可塑性学 鈴木 龍雄
神経可塑性の分子基盤 - 神経可塑性学講座の研究紹介 -

分子病理学 中山 淳
胃癌を予防する胃粘液の糖鎖

代謝制御学 青山俊文
食塩摂取制限と腎臓機能強化

循環病態学 新藤 隆行
生体内生理活性分子による血管、臓器の恒常性制御



午後の部: バイオメディカル研究の近未来 (13:15-17:00)

生体医工学 齊藤 直人
バイオメディカル研究所の概要

先端疾患予防医学(加齢生物学) 森 政之
疾患モデル動物を利用した分子遺伝学的発症機構の解明

先端疾患予防医学(スポーツ医科学) 上條 義一郎
血液量が増えるとなぜ体温調節能が良くなるのか?

先端疾患予防医学(スポーツ医科学) 増木 静江
運動習慣の定着率とバゾプレッシンV1a受容体遺伝子

先端疾患予防医学(分子腫瘍学) 藤井 千文
アダプター蛋白質ASCを用いた新規がん治療法の探索

神経難病(加齢生物学) 澤下 仁子
アミロイド線維形成機構の解明と発症予防への展開

神経難病(神経可塑性学) 白井良憲
シナプス後部に局在する転写因子Gtf2i

生体医工学 羽二生 久夫
カーボンナノチューブの安全性評価 - 細胞実験を中心に -

代謝ゲノミクス 片山 茂
食とアンチエイジング ~健康長寿の秘策に迫る~

